

道徳科学習指導案

令和3年11月 第3学年 指導者 星野 純一

1 主題名 誠実な心と責任ある態度 内容項目A-(1)自主、自律、自由と責任

2 教材名 「思い出のオムライス」(出典:「明日への扉3」学研)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目A-(1)自主、自律、自由と責任「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」に関わるものである。自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。そのためには、自らの規範意識を高め、自らを律することができるようになることが大切である。指導に当たっては、小学校における指導内容を更に発展させ、より高次の自立心や自律性を高め、規律ある生活をしようとする心を育てることが必要である。悪を悪としてはっきり捉え、それを毅然として退け善を行おうとする良心の大切さに気付くようにしなければならない。また、善悪判断の基準となる多面的なものの見方や考え方を身に付けることの重要性に気付き、自分の行為の動機の純粋さにとどまらず、その行為が及ぼす結果についても深く考えられるようにすることが必要である。誠実な心と責任ある態度について考えることで、自らを律し、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、人間としての誇りをもった、責任ある行動がとれるようにさせたい。

(2) 生徒の実態について

本校の第3学年は、真面目であり、与えられた仕事はきちんとできる集団である。ほとんどの生徒はやるべきことを考えることができ、係や委員会など決められた活動には責任をもって取り組める。しかし、自分から言動に表すことが苦手で、全体としては消極的である。また、自分自身の行為がどのような結果をもたらすのかということ深く考えられず、うそをついたりごまかしたりするなど、自分本位な言動をとる生徒が見られることもある。そこで、誠実な心と責任ある態度について考えさせるを通して、自分の行為の及ぼす結果について深く考え、自らの規範意識を高め、自らを厳しく律していけるようにしたいと願い、本主題を設定した。

(3) 教材について

本教材は、うそをつくことの意味について考えさせられた幼少期の体験を振り返る「私」の思いを通して、ねらいに迫るものである。小学3年生だった「私」は、熱を出して学校を休み、母親にオムライスの出前を取ってもらった。その味が忘れられず、母親に熱があるとうそをついて4日目も休んで、昼食にオムライスを取ってもらい、母に厳しく叱られる。うそがばれないか心配で、心臓がバクバクしたときの「私」の気持ち、そのうそを聞いたときの母の思い、うそを見破った母がどうしてあれほど怒ったかを考えることを通して、誠実に生きることによって人間としての誇りをもつ良心的な生き方について考えることができる教材である。自分の利益のために不誠実な行為をすることが信頼を裏切り自分の評価を落とすことを理解させるとともに、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚させたい。人間としての誇りを持ち、責任ある行動がとれるようになることが大切であることを理解させ、他者との話し合いなどを通して誠実に行動していこうとする実践意欲や態度を育ませたい。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値を想起し、自分の問題として捉えるために

・「うそをついたりごまかしたりして後悔した経験があるか、それはいつ頃か」についてアンケートを行い、アンケート機能を活用して ICT端末で集計結果を可視化する。

○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

・うそをついたときの「私」、皿を畳に投げたときの母、それぞれの心情を考えさせる。
・中心発問に対する考えを ICT端末に入力させ、気になる考えについて意見を交流させる。
・補助発問として、人はなぜ結果を考えずに行動してしまうことがあるのかを考えさせる。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

・三つの視点「今までの自分、学んだこと・気付いたこと、今後に向けての思いや願い及び決意」を与えて本時の振り返りを ICT端末に入力させ、友達の思いや願い、考えや決意などに触れさせる。

5 本時の展開

(1) ねらい

母の言葉が「私」の頭の中をずっと支配していた理由を考え交流することを通して、誠実に実行しその結果に責任をもとうとする実践意欲や態度を育てる。

(2) 準備

教師：教科書 ICT端末 モニター 範読用CD・プレーヤー

(3) 展開 (○発問 ◎中心発問 ◇補助発問)

学習活動と発問	時間	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点 ☆研究上の手立て
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。</p> <p>○今までの生活の中で、うそをついたりごまかしたりして後悔したという経験があるか。それはいつ頃か。</p> <p>※複数ある場合には、最も印象に残っているもの。</p>	5分	<p>ア ある(小学校入学前)</p> <p>イ ある(小学校1～3学年)</p> <p>ウ ある(小学校4～6学年)</p> <p>エ ある(中学校入学後)</p> <p>オ ない</p> <p>【問題意識】</p> <p>うそをついたりごまかしたりして後悔した経験があり、今でも記憶に残っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で扱う道徳的価値について、自分自身の日常生活を振り返らせることにより、自分の問題として捉えさせる。価値への方向付けをさせる。 ・うそをつくことに対して、自分がどう考えているか確認させる。 <p>☆ ICTのアンケート機能を活用し、アンケートの集計結果をグラフ化して可視化することで、自分の問題として捉えやすくする。</p>
<p>めあて：誠実に行動するためには何が大切か考えよう。</p>			
<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して道徳的価値についての考えをもち交流する。</p> <p>○欠席4日目、うそをつき母にオムライスを頼んだとき「私」はどのような気持ちだったか。</p> <p>○オムライスの皿を畳に投げたときの母はどのような気持ちだったか。</p> <p>○印象に残った母の言葉は何か。</p> <p>○その言葉を言われたとき「私」はどう思ったか。</p> <p>◎「うそつきは神様が許しても母ちゃんは許さん」という言葉が「私」の頭の中をずっと支配し悪事を思いついてもブレーキをかけたのはなぜか。</p>	5分 25分	<ul style="list-style-type: none"> ・またオムライスを食べられるのが楽しみ、嬉しい。 ・うそがばれないか心配。 ・心臓がバクバク。 ・母に申し訳ない気持ち。 ・娘に対する怒り。 ・娘に裏切られて悲しい。 ・自分に対する怒り。 ・「うそつきは神様が許しても母ちゃんは許さん」 ・家が貧乏なのが悪い。 ・怒る母が悪い。 ・うそをついたことを後悔してるから。 ・自分本位のうそをついたから。 ・自分自身も、自分を信じてくれていた母も裏切ってしまったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値に迫るため、教材を範読する前に登場人物を確認し、二人の心情・母の言葉に着目して聞くよう伝えておく。 ・小学3年生という年齢では仕方がないことではあるが、自分の願望だけで言動したことを確認する。 ・母は娘のことを最優先し、3日間昼食を食べずに働いていたことを確認する。 <p>☆ ICT端末に入力させた後、画面を見て気になる考えについて4人の班で意見を交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言が苦手な生徒も、考えを入力させることで表現させる。 ・より多くの考えに触れさせることで、物事を広い視野から多面的・

<p>◇人はなぜ、結果を考えずに行動してしまうことがあるのか。</p> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p> <p>○誠実に行動するためには何が大切か。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の評価を下げるようになったから。 ・思いつきで言動するから。 ・相手のことを考えず自分本位な言動をするから。 ・判断を間違えるから。 ・見通しをもたないから。 ・結果を考えて言動する習慣が身に付いてないから。 <p>誠実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそをつかない ・ごまかさない ・正しい判断→実行 ・自分で考える。 ・結果に責任をもつ。 	<p>多角的に考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入時に実施したアンケートの集計結果を提示し、自分自身にも「後悔」した経験があることを実感させる。 ・誰にも失敗した経験や後悔があることを確認し、その原因について考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で表現させる。 ・一つだけではなく、考えたことをなるべく多く答えさせる。 ・実際にできる言動だけではなく、内面的な部分も考えさせる。
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○本時の学習で学んだことや気付いたこと・考えたこと、今後に向けて決意したことは何か。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・うそをついたりごまかしたりせず、誠実に行動することの大切さ。 ・責任をもつことの大切さ。 ・我慢する心の大切さ。 ・これからの人生において大切なこと。 	<p>☆ ICT端末に入力させた後、各自の画面で多様な考えに触れさせて実践意欲を高めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述する三つの視点「今までの自分」「学んだこと・気付いたこと」「今後に向けての思いや願い及び決意」を与えて ICT端末に入力させる。 ・友達の振り返りを読む時間を確保し、実践意欲と態度を育ませる。

(4) 評価の視点

- 他者と議論する中で、他者の意見を参考に自らの考えを練り直し、自らの生き方について多面的・多角的に考えることができていたか。
- 正しい判断や心の在り方について理解したことを、自分自身との関わりの中で深めているか。

(5) 板書計画

めあて 誠実に行動するためには何が大切か

思い出のオムライス

うそをついて母にオムライスを頼んだときの私の気持ち

- ・嬉しい
- ・不安
- ・楽しみ

自分だけ その場

皿を畳に投げたときの母の気持ち

- ・怒り
- ・悲しみ

娘を優先

「うそつきは神様が許しても母ちゃんは許さん」

- ・家が貧乏なのが悪い
- ・怒る母が悪い

この言葉が頭の中をずっと支配し、悪事を思いついてもブレーキをかけたのはなぜか？

- ・うそをついたことを後悔しているから
- ・自分のためにうそをついたから

誠実に行動するためには

- ・うそをつかない
- ・ごまかさない
- ・正しい判断
- ・自分で考える
- ・結果に責任をもつ

振り返り

- ・今までの自分
- ・学んだこと・気付いたこと
- ・今後への思いや願い及び決意

誠実な心